

持続可能な魅力ある田園地域検討専門部会

<重点的検討課題①>

地域の資源や特性の再評価による求心力のある田園地域の創出

【現状と主な取組み状況】

人口の減少、流出により

- ・ 学校や医療機関等の社会インフラが縮小し、生活水準を保てない。
- ・ コミュニティの崩壊により、地域の文化(郷土料理や伝統芸能等)が衰退・景観が荒廃(空き家の増加等)

更に人口の減少、流出が進む

更に地域の求心力が低下

負のスパイラル

【検討の方向性】

● 都市部との出入り活性化・地域内での活発な交流を目指すコミュニティ循環を作る。

- ・ 人の交流が生まれる、拡大する好循環をつくる。

→ 地域資源や「課題」等を再評価し、コミュニティづくりを意識しながら再構築
(委員からのご提案) 田園の空き家をアート会場に×不便な道をE-バイクで解消⇒新たな交流イベント

- ・ 地域の多様な文化・景観等の再構築・再評価

→文化等に関連するイベントに外から参加者が集まることによって

- ①住民に誇りを持ってもらう + ②地域のファンを作る

(委員からのご提案) 地域の玄関口となる拠点×地域の歴史・文化のコンシェルジュ⇒関係人口の増大

山菜料理×器・デザイン⇒「ラベルの貼り替え」 (=地域資源の再構築・再評価) を創出

求
心
力
の
向
上

地域の特色・資源を活用した生業の創出

【現状と主な取組み状況】

人口の減少、流出により田園地域における地場産業(=生業)が衰退。農業や林業などの衰退により、地域内で稼げる仕事が減っている。

【検討の方向性】

- 地域の稼ぐ力を向上させ、経済(ヒト・モノ・カネ)の循環を作る。
 - ・ 地域にもともとあった特色ある産業や資源に新たな付加価値をつけて生業を創出する。
(委員からのご提案) 農業×有機、稲刈り体験×新米おにぎりを食べる×農家民泊
エネルギーとしての薪×薪集めイベント×親子での林業体験×伝承
 - ・ 地域の困りごと解決を仕事として成立させ、成果を地域で活用
(委員からのご提案) 空き家・耕作放棄地の増加×調査・データベース化×再生・活用
 - ・ 各地域ならではのスモールビジネスを地域 + 行政で支援する。

今後のスケジュールについて

	成長戦略会議	PT・専門部会	県
5月			R4アクションプラン検証
6月	第1回会議(本会議) ・ R5成長戦略の取組み状況の報告 (県→会議) ・ R6に向けた「重点的検討課題」の報告 (各戦略→会議)	・ R6に向けた「重点的検討課題」の抽出 ・ R4アクションプランの検証 (県→PT)	
7～9月		・ R6に向けた「重点的検討課題」への対応として「 重点的取組み 」を検討	
10月			成長戦略カンファレンスの開催 ・ 成長戦略の取組みやR6に向けた検討状況等を発信、関係者の巻き込み
11～R6.1月	第2回会議 (1月) ・ R5成長戦略の取組状況の報告 (県→会議) ・ R6成長戦略の取組方針の協議	・ 「重点的取組み」を踏まえて、県で R6アクションプランをとりまとめ (随時、各PT委員と連携)	
2月	第3回会議 (2月) ・ R6アクションプランの報告 (県→会議) ・ R6成長戦略の取組方針の決定	・ 県からR6アクションプランを報告	R6アクションプランの公表 (R6予算発表と同時 (2月中旬))
3月	・ 県から、成長戦略会議・PT・専門部会の委員へ、議決後のR6アクションプランを報告		